



2017年1月～3月のジオ・ミライ号の開催結果を報告します



日程	都道府県	会場	参加者数		
			展示車乗車	イベント実験	石けん作り
1/28(土)	静岡	浜岡原子力館 新エネルギーホール	76	75	50
2/5(日)	長崎	佐世保市少年科学館「星きらり」 ～サイエンス広場であそぼう～	228	255	
2/18(土)・19(日)	長崎	長崎市科学館 第38回スターシップフェスタ～わくわくサイエンス祭り～	404	491	247
2/25(土)・26(日)	静岡	浜松科学館	227	275	
3/11(土)・12(日)	埼玉	深谷グリーンパーク アクアパラダイス・パティオ	202	228	

▼浜岡原子力館(静岡県御前崎市)



1月末は中部電力浜岡原子力館に伺いました。  
浜岡原子力発電所のある御前崎は大変風が強く、  
その力を利用した御前崎風力発電所の発電機が設置されています。  
御前崎の海に沈む夕陽はとても美しいそうです。

館内には原子力発電に関する展示が並んでいて、じっくり見学することができます。  
実物大の原子炉の模型や、制御室内部の様子、防波壁のモデルなどは、  
発電所の内部を実際に目にしているかのようでした。  
展望台からは浜岡原子力発電所の周辺を一望することができました。

イベントの日も  
強い風が吹いていたね！

また、会場となった新エネルギーホールの中は、新エネルギーについての分かりやすい展示や  
アニメーション風の体験ゾーンで構成されています。





今回初めて、ジオ・ミライ号イベントのスタンプラリーを実施しました。3Dアニメーション上映、ベントナイトを使った実験、ベントナイトの主成分であるモンモリロナイト入りの石けん作りの、各コーナーを回ってスタンプを集めていただきました。スタンプをすべて集めたお子さんは満足そうな笑顔を見せてくれました。特に石けん作りは好評で、参加した女の子は自分の選んだ型どおりに可愛く仕上がった石けんに喜んでいました。



また、昨年の静岡県内でのイベントに参加して下さったご家族に、偶然お会いしました。実験をし、NUMO スタッフと話しながら、地層処分についてだんだん思い出してくれたようでした。少しずつでも地層処分について覚えていただけて嬉しく思いました。

#### ▼佐世保市少年科学館「星きらり」～サイエンス広場で遊ぼう！～（長崎県佐世保市）



2月、ジオ・ミライ号は長崎へ向かいました。佐世保市少年科学館「星きらり」のイベント、「サイエンス広場で遊ぼう！」に出展。当日はあいにくのお天気でしたが、多くのご家族連れが訪れ賑わいました。





館内の各スペースでは、大学や高等専門学校などの学生・教員や団体の有志によるさまざまなジャンルのブースが開かれました。

特に自走するロボットや、木を自分で切って作るパズルは人気でした。

さまざまなブースをめぐる、自然や科学の楽しさを味わう様子が印象的でした。



Pepper も大人気で、みなさん Pepper の愛くるしい動きに夢中になっていました。

雲仙岳を有する長崎県という土地柄、ベントナイトが火山灰や溶岩からできているという話は、

子どもたちも想像しやすかったようです。猫のトイレ用の砂も同じものからできているのだと伝えると、

ベントナイトの特性が実際に使われていることが実感できたようでした。みなさん終始楽しそうに話を聞いてくれました。

#### ▼長崎市科学館 第38回スターシップフェスタ～わくわくサイエンス祭り～(長崎県長崎市)

3回目となる長崎市科学館での開催。

「スターシップフェスタ」は年に2回の科学館を挙げてのお祭りです。

この館では、「世界一」と認められたプラネタリウムを見ることができます。



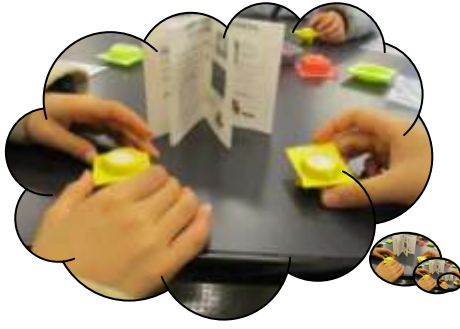
大勢の人で賑わう長崎科学館。館の職員による実験イベントも、大勢の方が観覧していました。

びゅんびゅんごまや、空気抵抗でゆっくりと飛行するグライダーなどを、子どもたちは夢中で作っていました。

自分の作ったものに科学の力が働いているのを、サイエンスサポーターの方々から教えてもらいながら、

子どもたちは科学に親しんでいるようでした。





長崎市科学館では、「石けん作り教室」を実施しました。

石けんが固まるのを待つ間は、ベントナイトと地層処分についての簡単なレクチャーを行いました。



この教室は大人気で、整理券待ちの列ができ、毎回満員になるほどでした。

最後のクイズでは元気に手を挙げてくれる姿が見られました。



外の寒さにも負けない長崎の元気いっぱいの小学生が遊びにきてくれ、石けん作りだけでなく、ジオ・ミライ号もベントナイト実験も大賑わいでした。去年のイベントについて覚えていてくれたお子さんも、今回初参加のお子さんも、一生懸命自分の力で考えようとしてくれる姿が印象的でした。

▼浜松科学館(静岡県浜松市)



冬も終わりに近づいた2月末の土日は、浜松を訪れました。

日差しは暖かいのですが浜松周辺特有の「からっ風」が吹き、防寒具の手放せない気候でした。

浜松科学館は配管の張り巡らされたような近未来的なデザインが特徴的です。



実は僕にも家族が  
いるんだよ！



館の入り口では大きなロボットが出迎えてくれます。なんだか親子みたいですわね。  
館内1階の展示は懐かしのコンピュータゲーム、携帯電話の変遷などがずらりと並べられていて  
電子機器の発展や時間の流れが感じられました。



科学教室に参加したり、ロボットコンテストの調整をしたりと、館を訪れる子供達は皆さん科学に前向きで、  
意識の高さを感じました。ホワイトボードにもたくさんコメントをいただきました。

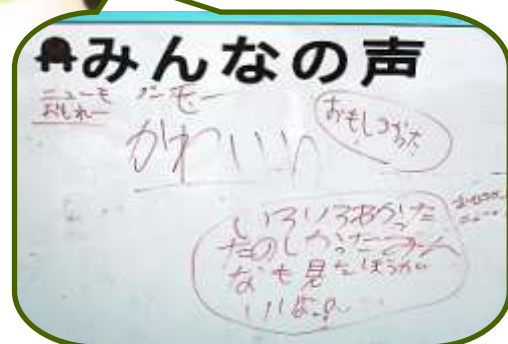
▼深谷グリーンパーク内 アクアパラダイス・パティオ(埼玉県深谷市)



寒さもだんだんと和らいできた3月半ば、深谷グリーンパーク内にあるアクアパラダイス・パティオで初開催。  
パティオ入口では色とりどりの花が出迎えてくれました。  
プールに遊びに来ていた家族連れ、グリーンパークで遊んでいた小学生たちに参加していただきました。



ジオ・ミライ号傍の花壇にはチューリップの球根が植えてありました。  
深谷市は深谷ねぎで有名ですが、実はチューリップの切花生産で全国2位  
なんだそうです。園内の約3万4千本のチューリップの花が見頃になるのは、  
天候にもよりますが、4月中旬とのことでした。



自然科学について詳しい小学6年生が、熱心に質問してくれました。  
「オーバパックの素材は何で作るの?」「ガラス固化体同士はどれくらいの間隔で埋めるの?」  
「掘削にはどういう方法を使うの?」など、見識の鋭さと好奇心旺盛さに驚かされました。  
将来の夢を聞くと、「研究者になって宇宙のことを研究したい」と大きな夢を語ってくれました。  
ゆったりとした会場で実りのある対話ことができました。

今年度のジオ・ミライ号イベントは終了となります。  
全国各地のたくさんの会場の方々の協力のもと、ここまで進んでまいりました。

まだまだこれからもジオ・ミライ号は新しい場所へと旅立ちます。  
2017年もジオ・ミライ号をよろしくお願い致します。

